

LAWSON

マンガ

まちを元気に、
幸せにする 24時間
ローソンの一日

まちと共に生きる取り組みを
おたえします。





お店もマチもキレイに

お客さまにいつも喜んでいただけるよう、お店では基本^{きほん}の3つのことに取り組んでいます。それは「お店の中やお店のまわり(マチ)をきれいにする」「心^{こころ}のこもった^{たいおう}対応をする」「お客さまがほしいと思^{おもう}う商品をそろえる」ことです。この3つに地道に取り組み^くむことで“みんなと暮らすマチ”を幸せにしたいと考えています。

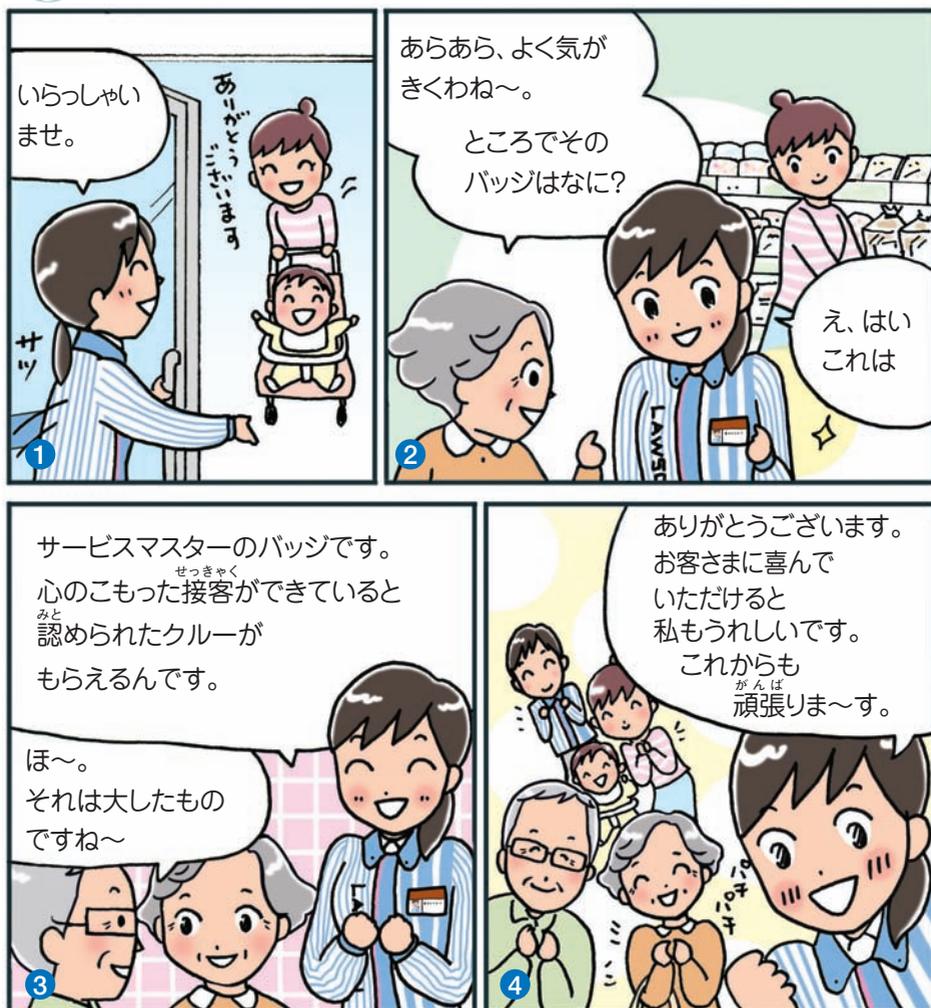




サービスに心をこめて

お客さまに気持ちよくお買い物をしていただけるよう、心をこめてお客さまと接するようにしています。心のこもった対応(接客)の考え方を決めて、お手本となるクルーさん(※)を「サービスマスター」に認定しています。

(※)ローソンでは、お店で働く従業員(パートタイマー、アルバイト)をクルーと呼びます。



さいはっけん

ふるさとのおいしさ、再発見!

ローソングループでは、みんなのマチを元気にするために、その土地でとれた野菜やくだもの、魚、海そうなどを使った商品をつくっています。地元でとれたものを地元で食べることでその地域を元気にしようという「地産地消(ちさんちしょう)」の考え方で、新しいふるさとの味を生み出しています。



あさ





マチカフェでマチあわせ

お客さまに「やっぱりローソンがいいよね!」といってもらえるような商品をつくり、みなさんにお届けしたいと考えています。

いれたてのコーヒーやおいしいお菓子で、“あなたのマチが、どこでも、カフェになる。”

「MACHI café (マチカフェ)」もその一つです。





発見!いろいろなローソン

マチのお客さまがほしいものに合わせていろいろなお店があります。
かぜ薬や胃腸薬、目薬などのお薬や、できたてのおにぎりやカツサンドを
売っているお店もあります。農家のみなさんきょうりよくと協力して、全国にあるローソン
ファームしんせんでつくった安全・安心で新鮮な野菜をたくさん売っているお店もあり
ます。



こだわりのデザートそろっています

お客さまの「近くで手軽に本格的なデザートが欲しい」という声にお応えするためにつくったデザート、「Uchi Café SWEETS」シリーズ。商品を安心しておいしく召し上がっていただくために、原材料にこだわり、商品をつくる工場やお店では品質を管理するためのいろいろな工夫をしています。



かんきょう

環境にやさしい「ケータイ運動」

かんきょう

環境を守るためレジ袋^{ぶくろ}を使わずに自分のバッグをいつも持ち歩く「ケータイバッグ運動」を進めています。持ち運びに便利なケータイバッグ「コンビニecoバッグ」をつくって、みなさんに使っていただけるようにしています。



世界で「ローソンのおでん」

わたし
「私たちは“みんなと喜ぶマチ”を幸せにします。」

この思いを守りながら、ローソンは中国をはじめ、インドネシア、タイ、フィリピン、ハワイにお店を出しています。

世界のどこでも、マチにあわせてお店をつくり、お客さまの期待にお応えできるようにしています。



子育て家族を応援するローソン

お店の中に、子どもが遊べる広場や休けい場所もある!

子育て家族を応援する「**ハッピーローソン**」が横浜市よこはまの山下公園よこえにあります。

このほかにも、さまざまなかたちで子どもたちを応援しています。



マチの幸せを増やす活動を応援

森を守るために、東北で被災した子どもたちや学生さんのために、
“マチの幸せ”^{ほきんぼこ}募金箱をレジの横に置いています。

ローソングループの一つ一つのお店とお客さまとで力を合わせて、
マチの幸せを増やす活動を応援しています。



一台で二役をこなす配送車

トラックや車は、燃料(ガソリン・軽油)を燃やしたエネルギーで走り、そのときに二酸化炭素(CO₂)を出します。CO₂は太陽であたためられた地球の熱を吸収し生き物が生きていくためにちょうどよい気温を保つ役割をしています。しかし、CO₂が増えすぎると熱が余分に残り地球全体の気温が上がってしまいます。ローソンでは、お店に商品を配送するトラックの数を減らすことなどにより燃料を使う量を減らして、CO₂がなるべく出ないようにしています。





最新せつぴの省エネ設備で電気を大切に

モノを燃もやすと二酸化炭素(CO₂)が出ます。電気をつくるためには、たくさんにさんかたんその燃料を燃もやすのでCO₂がたくさん出ます。そこでローソンのお店では、なるべく少ない電気で動かすことのできる最新さいしんのエアコンや冷蔵庫、ほとんど熱を出さずに電気のエネルギーを光に変えることができるLED照明を利用して、電気を大切に使っています。





エネルギーをつくるお店

ローソンは、太陽の光で電気をつくる仕組み「太陽光発電システム」を使って、
お店で使う電気の一部を自分でつくるお店をつくっています。

お店の設備で電気をつくることができると、災害などが起きて停電になったと
きに役に立ったり、電気を節約することができたりします。



ちきゅうおんだんか ふせ お買い物で地球温暖化を防ごう

お買い物で、地球があたりすぎることを防ぐのに役に立つ「CO₂オフセット運動」を進めています。CO₂オフセットとは、『毎日の生活の中で出すCO₂（二酸化炭素）の量を減らす努力をし、それでも減らすことができなかった分を、ほかの場所で減らしたCO₂の量をつかって、自分が出すCO₂の量の全部または一部を差し引いてゼロにする（＝オフセット）する』という考え方です。毎日の生活で出る二酸化炭素（CO₂）を計算上で、できる限りゼロに近づける取り組みです。



さてさて、今日は、家飲み! 家飲み! これこれ。

またビールじゃなくて第3のビールなの?



これは特別な第3のビールなんだよ。CO₂排出権つきなんだよ。

そうなんです。

「CO₂オフセット運動」という、地球温暖化を防ぐための取り組みなんですよ。毎日の生活で出るCO₂を埋め合わせることができるんです。



へえ～、排出権つきか～! 難しい言葉だけどスッゴいな～!



お母さんは、CO₂家計簿もつけてる。家族みんなで地球を元気に! だな。

みんなで地球を元気にしよう!

ローソンもお手伝いします!

サウキビが容器に変身!?

弁当などの容器は、食品をおいしく衛生的に保存するために役立ちます。しかし、食べたあとはごみになってしまうため、包装の仕方を見直したり容器の厚みをできるだけうすくしたりして、使う材料をなるべく少なくするようにしています。また、サウキビなどの植物からできた素材など環境にやさしい材料をつかった容器を積極的に使っています。



食べ物をムダにしないために

天気や行事、その他いろいろなデータを調べて、どんなお客さまにどれだけ来店してもらえるかを考えて棚に並べる商品の種類や数を決めています。それでも売れ残りの食品が出てしまったら、ブタやニワトリなどの家畜のえさや肥料、バスの燃料などにリサイクルをしています。



災害のときもたよれるお店へ

暮らしに必要なものや情報を届ける役目を果たしたいから、大きな災害が起こったときも、できるかぎりお店の営業を続けるようにしています。避難所に食べ物や日用品をお届けしたり、歩いて遠くまで帰るみなさんにトイレをお貸ししたりしています。





マチのセーフティステーションとして

お店では万が一のための防犯訓練をするほか、日ごろから子どもや女性、ご高齢のみなさんが困ったときにお店にかけ込めるようにしています。

いつでも、みなさんに安全・安心と思っていただける“マチのセーフティステーション”でありたい。それがローソングループの想いです。

